

磐城時報

平町 和久井屋 電話四〇五番

魚清食堂 電話六三三番

大藏省允許 磐城無盡 自給更生 無盡の力 簡易金融 趣味、貯蓄 平均電話三

流行下駄草履 南町三井ハキモノ店 電話一八一番

兩小學校の敷地買収 地主譲歩。遂に纏る

第四小學校 町管運動物場 明春早々着工
愈よ土地収容法を適用すること主中二名を除いては既に買収を
になった平町第三小學校運動場承諾され、契約金を手交して
擴張敷地買収問題は最後のフタ登記を終ったが残り二名の地主
に場に至って頑強に坪四圓を主として現在では大体買収に意
張して買収に應じなかつた長谷橋を渡して居るの年内までに
川浩太郎氏も周囲の勧告に折れは全敷地の買収は完了するもの
町側の提示した坪三圓に應ずる見られぬや、明年度早々埋立工
事となり且つ大町一丁目田に貫通する見られぬや、明年度早々埋立工
通する大幹道路を明年度に開鑿町管運動物場が建設されるが
することを条件として金二百圓俵町管内に建設される公倉堂と
を平町土木費のうちから寄付する相俵つて、坪四圓の二大
一萬八千坪の敷地買収は既報の如く、坪四圓の二大
如く委員連の奔走で廿四名の地

社會の正しき理解を 轉向者は希む

依然として向けられる白眼に 泌々こ心境を語る
既報「共產運動の尖鋭 闘士としての過去を清 算、忠實なる社會人と して生活戦線に立つこ とになつた山代吉宗、 二片義雄、白土四郎、 大井川基司四君の轉向 聲明座談會は廿二日午 後三時から平町支所に於て催 された。

過去の誤謬を清算し 更生の道を辿らん

四君の轉向聲明書
(別項)轉向座談會の席上發表し た聲明書は左の如きものである 願るに吾々は正より昭和の 初期に於ける思想界動搖の影 響を受け共産主義運動に參加 し、法網に觸れ拘禁生活を送る こと致しに数年、其間獄に在つ て静かに反省し過去に於ける 行動を批判するに共に出所後 具に社會の進展、思想界の 推移を觀察して世界に比類な き我が國の優越性を認識す るに及び從來我々が主張し來 りたる思想及び行動は過激極 めたるものにして我が國の現 状と相容れざるものであり、こ れを痛感するものであります 而して過去に於ける我々の行 動は社會の安寧秩序を擾亂し 人心に不安を興へ、經濟界に 多大なる損害を齎せし等々 その影の甚大なるを思ひ、只 管遺憾の心を表する次第であ ります。 乍然右の如き過去の行動は單

けふ撮影班一行來平

期待される「祐天上人一代記」
既報「祐天上人一代記」の映 畫化を本格的に着手すること になつた東洋映畫社は今日廿 三日午後三時三十分着下り列 車で撮影班一行三十名が來平 勝地新舞子を背景に左の如き 要領で撮影を開始する。 小左右衛門には七人の子供が 有つたが早退して八人目の三 之助だけは才位迄育つたが、 左衛門は江戶は芝居上寺の 體波和尚は自分の弟に當るの でそれを頼つて旅立つ、母お 稻は我が子の門出を涙乍らに

交叉点で衝突重傷 四倉町の自動車事故

四倉町春蘭展盛況
廿一日午後四時二十分ころ白米 殿下御誕生記念日に児童作品並 六十俵を積んで湯本町に向け発 走してゐた双葉郡新山町北白 町自動車伊澤七治方運轉手浪 江町字権現堂生れ後藤耕作(三 四)運轉のトラックが四倉町字 町頭地内國道交叉點にさしか、 丁際前方から自轉車で走つて 來た四倉町字町頭一七中山才治 (二七)を剎め飛ばし左足、右前 腕部に全治二ヶ月の重傷を負せ た。

けふ撮影班一行來平

期待される「祐天上人一代記」
既報「祐天上人一代記」の映 畫化を本格的に着手すること になつた東洋映畫社は今日廿 三日午後三時三十分着下り列 車で撮影班一行三十名が來平 勝地新舞子を背景に左の如き 要領で撮影を開始する。 小左右衛門には七人の子供が 有つたが早退して八人目の三 之助だけは才位迄育つたが、 左衛門は江戶は芝居上寺の 體波和尚は自分の弟に當るの でそれを頼つて旅立つ、母お 稻は我が子の門出を涙乍らに

最終町會

平町本年掉尾の町會は 廿六日午後一時から開 き臨時戸數割賦課、青 年學校職員並に傳染病 院醫師退職慰勞金贈呈 區長及び區長代理推薦 寄付採納、伊坂道雄氏より小 學 校基本金として、その他雜件を 附議する。

三之助(祐天上人幼少時代)
父小左工門 久保田龍男
母お稻 久澤安孝
旅 借 櫻井 清江
森川 春美
清

四倉町春蘭展盛況
廿一日午後四時二十分ころ白米 殿下御誕生記念日に児童作品並 六十俵を積んで湯本町に向け発 走してゐた双葉郡新山町北白 町自動車伊澤七治方運轉手浪 江町字権現堂生れ後藤耕作(三 四)運轉のトラックが四倉町字 町頭地内國道交叉點にさしか、 丁際前方から自轉車で走つて 來た四倉町字町頭一七中山才治 (二七)を剎め飛ばし左足、右前 腕部に全治二ヶ月の重傷を負せ た。

交叉点で衝突重傷 四倉町の自動車事故
廿一日午後四時二十分ころ白米 殿下御誕生記念日に児童作品並 六十俵を積んで湯本町に向け発 走してゐた双葉郡新山町北白 町自動車伊澤七治方運轉手浪 江町字権現堂生れ後藤耕作(三 四)運轉のトラックが四倉町字 町頭地内國道交叉點にさしか、 丁際前方から自轉車で走つて 來た四倉町字町頭一七中山才治 (二七)を剎め飛ばし左足、右前 腕部に全治二ヶ月の重傷を負せ た。

警城時報

本報發行所 警城時報社
印刷所 加納印刷所
電話 三三三三
電話 三三三三

修得短期
廉低費經

現代的

紫山流盤景教授

- 一、材料器具が安く何回でも使はれる。
- 一、練習二、三回の初心者の作品でも直に床の間を飾るに充分である。
- 一、一週間一回六ヶ月で修業出来る。
- 一、繪畫の素養全く無き老若男女どなたにも習得出来る。

平町白銀町
紫山流 高橋光山
電話 六三八番



平土橋
仙魚店
電話 六六二番

干ヤナギ
いか切込
賣り始めました
鯉節・鯉塩辛・生き鯉

正札堂洋服店
平町四丁目 電話 四三六番

| | | | |
|--------|----|-----|-----|
| セビロ三ツ組 | 二九 | 三十三 | 圓ヨリ |
| 實用向 | 九三 | 圓八十 | 錢ヨリ |
| 1936型 | 二九 | 圓五十 | 錢ヨリ |
| Wオーパー | 二五 | 圓五十 | 錢ヨリ |
| トロンビ | 二六 | 圓三十 | 圓ヨリ |
| モチリ | 五三 | 圓五十 | 錢ヨリ |
| 紺サージ外套 | 一六 | 圓五十 | 錢ヨリ |
| サージ立襟服 | 一五 | 圓九十 | 錢ヨリ |
| | 一四 | 圓五十 | 錢ヨリ |

冬服特賣

牛豚肉
平町田町
三三三三屋
電話 三三三三

RESTAURANT. TEA AND WINE
洋食 喫茶
コンパル
平町電 六六六番

國防色外套賣出
新制定の國防色羅紗製防寒防水の完備品
3尺寸...10圓60錢ヨリ
各寸30錢ヨリ
ふかや洋服店 平電 203

食事 喫茶 酒場
イワキサロン
男給の店
町田・平 (二五三電)

魚召すふら
ヒマル凍魚
日本産手特約 電話 三三三三
卸小賣 平製氷會社
代表店 印刷所 電話 五二八番

かまぼく 折詰生魚
た惣菜用 さつま揚 吉原揚
平町一丁目 (電話 一四一番)

糯米高値!
共販十三圓十一錢
石城販聯の俵米共販は廿一日行
つたが平倉庫四等米十一圓五十
錢で前回と大差なかつたが、飯
野倉庫の四等米十三圓十一錢、
で時節柄高値を示した。
中堅農民生の 石城郡農
現地指導講習 會中堅農
民講習生は廿六日柴田技手引卒

根莖 切膿 藥症 快鼻湯
本劑は幾多の藥劑あり、雖他藥の及ばざる
良藥であり、左の病症の方は一時も早く
服用され快癒されん事を御奨め致します。
蓄膿症、慢性急性鼻加管炎、鼻汁多加症、頭重、肥厚
性鼻炎に靈効あり。
其他鼻骨彎曲症、並に中耳炎に偉大なる神効ありと賞
賛されて居ります。
家傳胃腸藥 製造元 水野藥局
快鼻湯 責任製劑者 藥劑師 水野清一
電話 六九九番

胃腸病科 花柳病科 性病科 泌尿器病科 皮膚科 肛門病科
門專 院醫科 性胃腸村松
(番七〇一電) 町南町平

喪中に付年末年始の禮
御遠慮申上候
昭和十年十二月
平町二丁目
西村屋藥舖
鈴木堅助
御會葬御禮申上候
十二月二十二日
伊坂道雄